

地域ネットワーク「かわらばん」

第1号 発行日:令和2年6月1日 発行者:行方市社会福祉協議会「生活支援体制整備事業」

玉造西小学校区第2層協議体 市営路線バスで行く福祉施設見学会を実施



これから市営路線バスに乗り込み体験スタートです！

令和元年10月1日(火)、谷島・浜区民の方25名に参加をいただき「市営路線バスで行く福祉施設見学会」を実施いたしました。

玉造庁舎より乗車し、なめがた地域医療センターで乗り換え、あそう温泉白帆の湯へ向かいました。

あそう温泉白帆の湯では、市営路線バス・介護保険制度についての研修を行い、午後からは福祉バスに乗り換え特別養護老人ホーム玉寿荘を訪問し、完成間もない施設の見学や坂本理事長より施設の概要を説明いただきました。

参加された皆様のご意見(アンケート)として市営路線バス・介護保険ともわかったつもりだった・・・実際に研修を受けると気づくことがとても多くこれからの生活に直結していることだとあらためて気づかれる方が多くいらっしゃいました。この経験をふまえ協議体のメインテーマとして公共交通を取り入れ今後、活動を進めていきます。メンバーの皆様なにとぞよろしくお願いいたします。

矢幡区第2層協議体 ひとり一品運動 351キロ ありがとうございました。

令和元年度に矢幡区で実施したフードバンク活動の紹介です。令和元年度に3回、8月4日(日)/11月17日(日)/3月1日(日)に太田地区館や旧太田小学校を会場として「ひとり一品運動」が実施されました。

区民の方々にひとり一品運動のチラシで呼びかけを行い多くの方々に協力をいただき貴重な食材がたくさん集まりました。(令和元年実績351キロ)

集まった食材は、市内、県内で食べ物を口にできずに困っている方々へフードバンクなめがたを通じて提供いたしました。



たくさんの善意的な食材があつまりました。

大和第3小学校区第2層協議体 ～ 地域懇談会 ～

大和第3小学校区の2回目の会合では、前回に引き続き地域防災について協議が行われました。今回の協議で、地域防災の一つのポイントである地域防災訓練を台風時期の前にと協議体メンバーからの意見もあり想定より早く実施されるよていでおりましたが、現在、コロナウイルスの影響もあり当初計画していた時期の開催は難しくなっていました・・・地域の方が地域の方を見守り平時から支え合う仕組みづくりは、今、最も求められていることです。今後、災害時の避難体制（高齢者などの見回りなど）の構築や避難訓練を検討していきます。状況が落ち着きましたら懇談会を計画しますのでよろしくお願いします。



武田小学校区第2層協議体 ～地域懇談会～

令和2年2月に初回の地域懇談会を開催し区長、区長代理、民生委員の方々に集まっていただきました。生活支援体制整備事業説明や他地区の取組状況などを説明した後、武田地区の行事などをお聞きしました。地域主催の行事がとて多い様子で地域のつながりが、根強く残っている地域だと感じました。地域での防災体制やひとり一品運動などの具体的な話がでました。また、懇談会を計画しますのでご協力よろしくお願いします。



なぜ今？ 生活支援体制整備事業が必要なのか？

ひとり暮らし世帯や支援を必要とする高齢者が増加するなか、困った時には、制度やサービスだけでは届かない、ちょっとした手助け（ごみ出し、電球交換や掃除など）が必要なが多くあります。急激な核家族化やプライバシーの問題により地域のつながりが希薄化しつつある現在、地域での孤立が発生しやすい状況です。孤立した状況が続くことは、生きがいの喪失や、日常生活に不安を感じることに繋がります。行方市社会福祉協議会には、地域の皆様とともに身近な地域での支え合いを推進し、支え上手・支えられ上手の地域づくりをすすめていくことを目的に、生活支援コーディネーターが配置され事業を推進しています。